

Bulletin 198

2006年12月号

平成3年4月16日第三種郵便物許可 平成18年12月15日発行(隔月15日発行) 第20巻第4号 通巻198号

誰でも知っているエチオピア、だけど 誰も知らないエチオピア

—— 若林 康夫 氏 6-8

新連載-1

ライ麦畑のつかまえ役

—— 目黒 実氏 2-3



ブラヴォー！ローマの建築・美術

—— ダンス建築研究所 鈴木 利美 4

保存問題大会・良いことが起こるのではないかと 期待して

—— 兼松設計 兼松 紘一郎 9

●こだわりのディテール

手摺と可動格子戸 —— 中村雅子デザイン事務所 中村 雅子 10

地球温暖化と闘う元副大統領・ゴア 渡辺武信設計室 渡辺 武信 11

まちづくりからの建築計画(その2) —— 計画工房 村上 美奈子 氏 12

お菓子でまちづくり —— 千葉県建築士会 高木 俊行 氏 14

●委員会部会報告

一般市民に向けた活発なセミナー活動

—— TAC濱田建築設計事務所 濱田 昭夫 15

ルーテル学院大学新校舎、見学会・

シンポジウムで表出したもの 連健夫建築研究室 連 健夫 16

造形ワークショップ「家をたてよう」

—— アトリエテン/実践女子大学建築デザイン研究室 高田 典夫 18

●交流一新加入企業紹介

ほのかな明かりも、大きな動力も……

—— 東光電気工事株式会社 野口 明 19

省エネ推進への限らない技術探究

—— 三菱電機照明株式会社 水島 保之 19

関東甲信越支部正会員の皆様へ

「活動支援金」の要請を検討しています

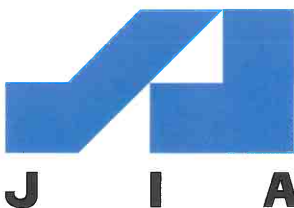
—— 関東甲信越支部支部長 伊平 則夫 20

イベントセミナー情報

●こんな本を読みました

『サイドウェイ 建築への旅』 ダンス建築研究所 鈴木 利美 23

編集後記



社団法人 日本建築家協会
The Japan Institute of Architects

関東・甲信越支部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA 館

Tel: 03-3408-8291 Fax: 03-3408-8294

手摺と可動格子戸

—船の家



中村 雅子

これは私の住まいと事務所の建物である。

都市部にありながらも3方角地の恵まれた環境である。また、風致条例で外壁の後退距離に定めがある。(道境から2m、隣境から1.5m)その条件を活かすべく、建物周囲をバルコニーで囲んだアウトコート。その先端にとりつく手摺と可動格子戸である。



考えたこと

1. RCスラブの水平線を邪魔しないデザインとする。
2. 1m x 2mの引戸が自由に動く。自由に足せる。
3. 格子戸の位置によって建物の表情を変えられる。
4. 手摺と引戸のベースは一体にして、かつ部材を減らす。
5. 全周50m、最長12mの引戸レールは精度2mm以内とし、SUS材にて現場溶接で一発でつくる。
6. それ以外の鋼製材は鉄工所で製作できる内容として意匠性、耐久性を保持しつつコストを抑えてつくる。

*適度にプライバシーを守りつつ開放的な空間となった。

〈中村雅子デザイン事務所〉

